

鹿児島大学男女共同参画推進室

“muse 篤姫” Newsletter

編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進室

〒890-8580 鹿児島市郡元 1-21-24

電話 099-285-3012 E-mail: gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp

http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/index.html

創刊号 Vol.1

■創刊に際して

少子高齢化、グローバル化など大きな変化の中で、将来にわたり、持続可能で多様性に富んだ社会を構築するため、多様な人材を育成し、活用していくことが強く求められています。そのコアになるのが男女共同参画であり、鹿児島大学では、平成21年度に男女共同参画推進室を設置するとともに、平成22年1月には男女共同参画基本理念及び行動指針を策定し、男女がともにそれぞれの個性や能力を活かしていける職場環境の構築に向けて、決意を新たにしました。



吉田浩己 学長

これから本学の男女共同参画の推進に向け、さらなる意識啓発を行うとともに、教職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した教育研究や就業環境の整備充実を図り、男女共同参画基本理念と大学憲章に謳ってあるとおり、構成員の一人ひとりが伸びやかに、自分らしく輝き、大学の運営に責任を持って参加する「進取の気風にあふれる大学」を実現したいと考えております。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いします。

鹿児島大学では、昨年11月に実施した意識調査の結果をもとに、男女共同参画の推進を目指して、平成23年度からの短期（3年）及び長期（10年）行動計画を今年の3月に策定する予定です。男女共同参画推進室が呱呱の声をあげて1年余り、共通教育における新科目開設やシンポジウムの開催など、いくつかの事業に取り組みながら、いよいよ本格的な環境整備に取りかかる段階を迎えました。



河原尚武 理事
(男女共同参画推進室長)

このNewsletterは、男女共同参画推進室ホームページとともに、仕事と生活の両立をしっかりと支える研究・教育環境の実現や、学生に対するキャリア形成支援等々、男女共同参画に関する様々な課題を取り上げ、互いの経験や意見の交流の場となるよう期待を込めてお届けします。親しみやすく有用な紙面づくりに努めて参りますので、どうか皆様のご支援をお願い申し上げます。

■鹿児島大学男女共同参画推進体制

鹿児島大学における男女共同参画の推進体制は、2009年9月に男女共同参画推進室が設置されて以降、現在右のとおりとなっています。

なお、男女共同参画推進室を窓口とする相談体制をスタートいたしました。



“muse 篤姫”Newsletter Vol.1

男女共同参画 “muse 篤姫” シンポジウムを開催

～「鹿大スタイル」のワーク・ライフ・バランス推進体制構築への第一歩～



講演する板東局長

男女共同参画推進室では、11月26日、男女共同参画“muse 篤姫”シンポジウム～一人ひとりが伸びやかに、自分らしく輝ける大学をめざして～を稲盛会館で開催し、学内教職員・学生のほか、自治体や九州地区国立大学関係者等約230名が参加しました。

はじめに、板東久美子文部科学省生涯学習政策局長が「大学における男女共同参画の実現を目指して」と題して基調講演をされました。板東局長は、我が国の社会や科学技術の持続的発展には人材の多様性が不可欠であると指摘した上で、様々な支援や環境整備の充実と、学長のリーダーシップによる学内全体の意識改革の重要性について述べました。

引き続き行われたパネルディスカッションでは、大学院医歯学総合研究科の田川まさみ教授をコーディネータに、板東局長、経営協議会委員の林ユリ子氏、阿部美紀子理事、武隈晃教育学部長がパネリストとして登壇。

ワーク・ライフ・バランスに関する課題やニーズの『見える化』をしながら、「鹿大スタイル」の多様な事業の実施や支援体制を構築する必要性と、次世代の男女共同参画社会の担い手を育成するための教育カリキュラムの充実などの重要性について確認されました。

なお、パネルディスカッションに先立ち、学内公募で選んだ男女共同参画推進室“muse 篤姫”のロゴマークが公表されました。

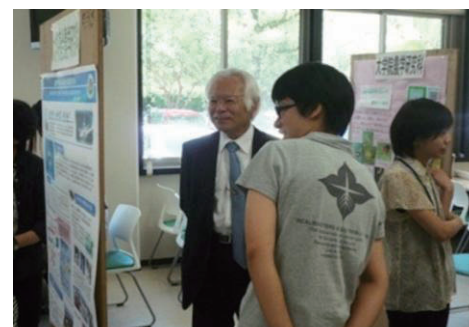


オープンキャンパス企画 “muse 篤姫” 「郷中 Café『夢・未来』」を開催

女子高校生の進路選択支援の一環として、8月5日、6日の両日、女子大学院生と女子高校生が交流する“muse 篤姫”郷中Café『夢・未来』を開催しました。これは、女子高校生に女子大学院生との意見交換の場を提供することによって、大学での授業や研究活動の概要を把握し、将来のキャリアイメージを持ってもらうことを目的としたものです。2日間で約80名が参加し、各研究科から推薦された10名の大学院生が、各自作成したポスター等により研究活動について紹介したり、学生生活や将来のことについて、冷たい飲み物を飲みながら、和やかな雰囲気の中で、高校生と意見交換していました。

参加した高校生からは、「教育や研究のことなどをわかりやすく教えてもらい参考になった」「進路決定に関する貴重なアドバイスがもらえた」といった感想が聞かれたほか、大学院生からも

「他研究科の学生との交流ができてよかった」「自分の研究内容を改めて客観視することができた」といった意見があり、非常に有意義な機会となりました。



吉田学長も視察されました

共通教育科目「男女共同参画とキャリアデザイン」を開講

～育児や介護体験者の教職員がロールモデルとして講演～

共通教育科目において、男女共同参画関連の科目「男女共同参画とキャリアデザイン」を後期に初めて開講しました。

これは、男女共同参画についての理解を深めさせ、男女共同参画社会実現への積極的な関与を促す契機とするとともに、将来のキャリアデザインに活かしてもらうことを目的としたものです。

講義の前半は、各分野の教員や(社)日本産業力カウンセラー協会産業力カウンセラーの林 ユリ子氏による男女共同参画社会基本法の基本概念、ワーク・ライフ・バランスや人権などの男女共同参画に関する基本的知識に関する講義が行われ、後半は、子育てや介護を経験またはその最中にある教職員によるロールモデル講演や、男女共同参画推進室推進部会委員の関係教職員を交えて、グループディスカッションが行われました。最終回には“イクメン”、“主夫”、育休制度や保育支援などのテーマについて、それぞれのグループが、研究成果をポスターやスライドを使って発表。日本の現状と海外との比較等を通じて、女性の社会進出を阻む問題点の指摘や、その解決策について提言があり、学生の男女共同参画に対する意識が大きく変化したことが伺える有意義なプレゼンテーションとなりました。

なお、来年度も後期に開講する予定です。



林ユリ子氏による講演
「人権とワーク・ライフ・バランス」



職員を交えた
グループディスカッションの様子

＜受講者の声＞



教育学部2年
武藤 光季さん

今回講義を受けるまで「男女共同参画」という言葉を意識したことはありませんでしたが、ワーク・ライフ・バランスやジェンダーなどについて学んだことで、無意識に自分の中にあった固定的な男女の役割分担意識に気づきました。将来、自分が社会に出て、仕事と生活の両立は、直面することになる課題ですので、引き続き認識を深めていきたいと思います。このような講義をもっと多くの学生に受けて欲しいですね。



グループ発表の様子

学長と女性研究者との懇談会を開催



2月18日、吉田学長と女性研究者16名との懇談会が行われました。これは、女性研究者のニーズを直接聴くことで、本学の男女共同参画の推進に向けた、教育研究及び就業環境の整備や各種支援の充実に資することを目的として、吉田学長の提案により、初めて企画されたものです。

懇談会では、様々な意見・要望がありましたが、特に育児支援に関して、大学ならではの人的物的資産を活用した保育所や保育支援体制の整備、個々のニーズに応じた支援のオプションの多様化や、管理職層への意識啓発の強化など、積極的な提言がありました。

最後に、吉田学長が、「男女共同参画に係る相談窓口の活用の促進や、今回のような懇談会などの開催を通じて、女性研究者をはじめとする構成員の皆さんのニーズや抱えている問題を集約しながら、多様な環境整備や支援策の充実につなげていくとともに、構成員に対して、男女共同参画に関する意識啓発を継続的に行っていききたい」と抱負を述べました。

■男女共同参画推進に係る意識調査結果

男女共同参画推進室では、昨年11月4日から12日にかけて、男女共同参画推進に係る意識調査を学内全常勤職員に対して実施し、1,767人（男 963人 女 804人）の方から回答いただきました。

なお、職位別の詳細結果等を含む詳報については、男女共同参画推進室ホームページにも掲載する予定であり、総括報告書についても4月をめどに作成することとしております。

調査対象 全常勤職員（2591人／2010年10月1日現在）

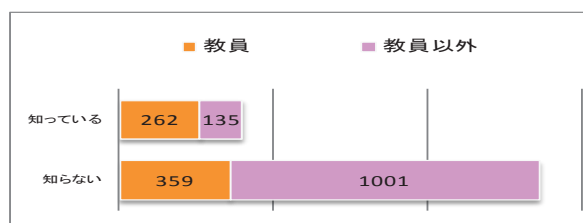
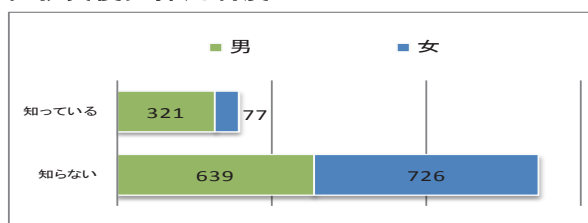
回答状況 回答者 1,767人（回収率 68.2%）

○職種別 教員：621人 事務職員：341人 技術職員：128人 医療技術職員：558人

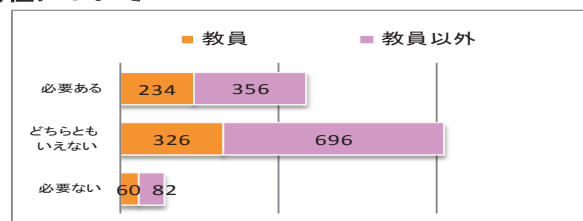
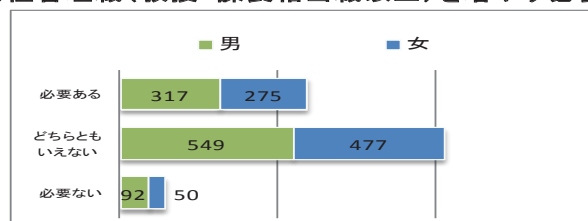
教諭：73人 その他：40人 不明：6人

○年代別 20代：404人 30代：488人 40代：415人 50代：349人 60代：111人

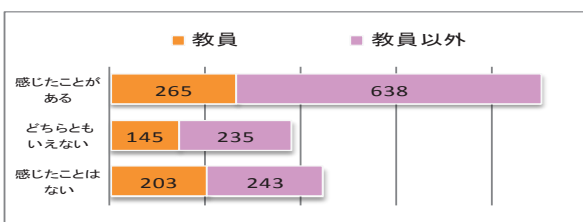
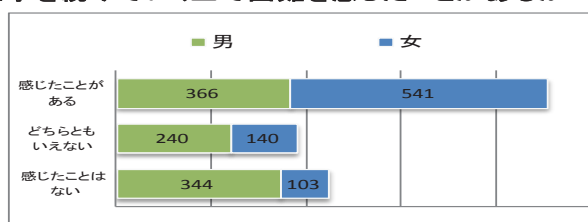
女性教員優先採用制度について



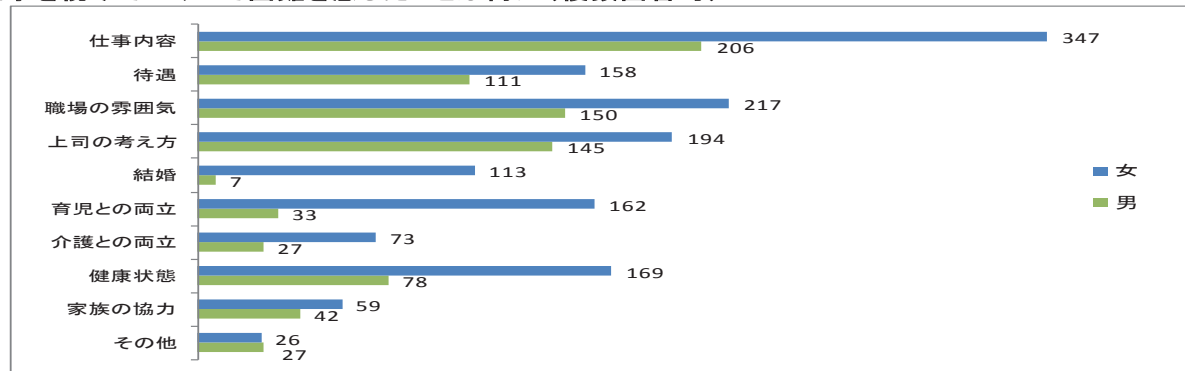
女性管理職（教授・課長相当職以上）を増やす必要性について



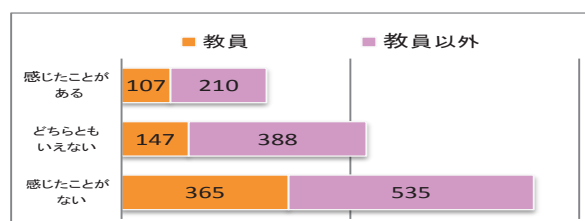
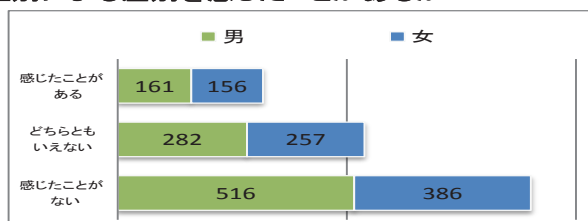
仕事を続けていく上で困難を感じたことがあるか



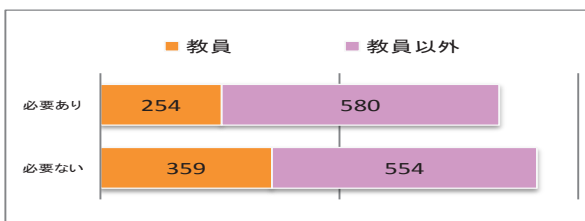
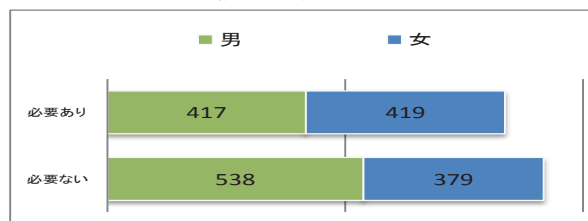
仕事を続けていく上で困難を感じたことは何か（複数回答可）



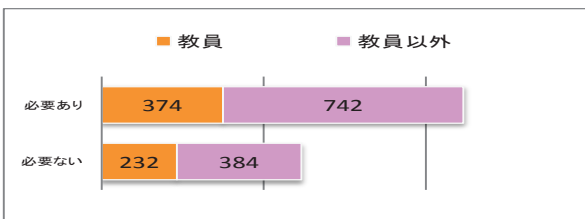
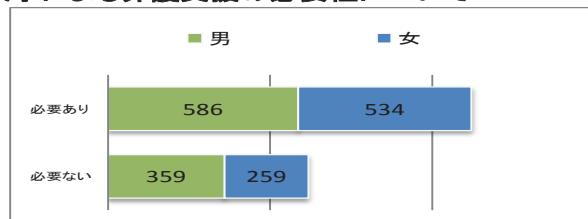
性別による差別を感じたことがあるか



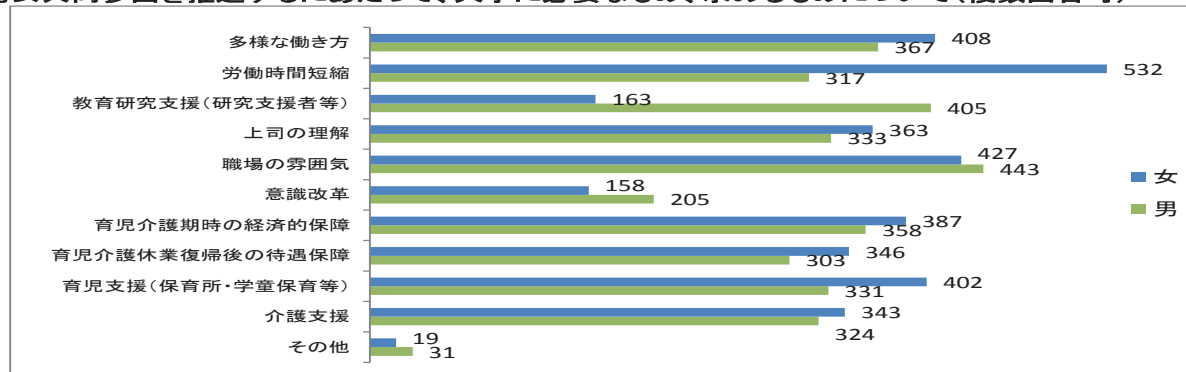
大学による育児支援の必要性について



大学による介護支援の必要性について



男女共同参画を推進するにあたって、大学に必要なもの、求めるものについて（複数回答可）



<自由記述から>

男女共同参画を推進する上で大学に必要なものや求めるものを自由記述していただきましたが、様々なご意見ご要望が寄せられました。ここでは紙面の制約上、主な意見を要約して、ご紹介いたします。

（保育支援）

- ・郡元地区への保育所の設置、さくらっ子保育園のサービス充実（病児保育等）をお願いしたい。
- ・小学校低学年の学童保育や学会参加中・夏季休暇中の保育支援が欲しい。

（労働環境改善）

- ・超過勤務時間の短縮、勤務形態の多様化（短時間勤務など）が必要
- ・育児・介護等休業制度の利用促進には、職場の取りやすい雰囲気（上司の意識改革など）づくりが必要
- ・17時以降の公式な会議・打合せ等の廃止や業務の改善合理化の実質化が必要

このほか、「調査ばかりで具体策が見えない」といった厳しい意見もありましたが、男女共同参画推進室では、アンケートや様々な交流会を通じてニーズの掘り起こしをしながら、具体的な支援策を進めていきたいと考えています。



○男女共同参画推進室ホームページ

男女共同参画推進室では、鹿児島大学における男女共同参画推進体制や本学の男女共同参画基本理念、諸活動報告や、関連事業の案内等をホームページ上で定期的に情報提供していますので是非ご覧ください。今後各種制度の案内など、随時改善を行って参ります。なお、来年度当初にリニューアルする予定です。

<http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>



○男女共同参画推進室“muse 篤姫”のロゴマークを制定

男女共同参画推進室では、イベントや刊行物等の広報活動用に使用するロゴマークを学内公募し、教職員や学生から応募のあった25作品の中から、厳正なる審査の結果、右のデザインに決定いたしました。

3つのサークル（職場や地域の支援や男女共同参画のネットワークを表現）で表した大地から萌芽した若葉を男女に見立て、相互に思いやって尊重し合う姿をイメージしたものです。中央の〇に、新たな命の誕生と男女共同参画の更なる推進の思いが込められています。



○次世代育成支援推進対策法第13条に基づく基準適合一般事業主認定マーク「くるみん」について

鹿児島大学では、次世代育成支援対策推進法に基づき、昨年2月23日付けで鹿児島労働局長より「基準適合一般事業主認定」を受け、次世代認定マーク（愛称：くるみん）を取得しました。この基準適合一般事業主認定は、2005年4月に施行された「次世代育成支援対策推進法」に基づいて、企業が子育て支援のための行動計画を策定し、一定の要件を満たした場合に取得できるものです。取得した次世代認定マーク（愛称：くるみん）は、名刺や封筒、求人広告などに使用することができます。

※くるみんマークのデータは、ホームページから入手可能です。



○教員公募要領に一律男女共同参画推進を積極的に行っている旨を明記へ（2010年9月～）

鹿児島大学が、男女共同参画を積極的に推進している姿勢を応募者及び社会に対してアピールするため、すべての教員公募要領に『鹿児島大学は、男女共同参画社会基本法の精神に則り、積極的に男女共同参画を推進しています。』の文言を一律明記することになりました。

【編集後記】

鹿児島大学の男女共同参画の推進に向けた取組は、昨年度の男女共同参画推進室設置後、推進体制が整備され、昨年11月のキックオフ・シンポジウムの開催で、ようやくスタートラインに立ったところです。いよいよ次年度から、本格的なワーク・ライフ・バランス支援等に向けた取組を実施していくことが求められています。

Newsletterでは、男女共同参画推進室の取組や、教職員や学生の皆さまの声も紹介して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。（学長補佐 田島）

<各種相談について>

男女共同参画推進室では、2011年度から、相談窓口を設置し、教職員・学生の皆さまから、仕事や学修上におけるさまざまなご相談やご質問をお受けし、対応する体制を整備します。

悩み、お困りのことや、わからないことなどございましたら、プライバシーには十分配慮いたしますので、下記まで随時遠慮なくご相談ご質問ください。

受付：総務部人事課男女共同参画企画係
電話 099-285-3012（内線 3012）
E-mail: gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp